

# 第1章 東京都が目指す教育

## 1 東京都教育委員会の教育目標

教育は、常に、普遍的かつ個性的な文化の創造と豊かな社会の実現を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神にみちた健全な人間の育成と、わが国の歴史や文化を尊重し国際社会に生きる日本人の育成とを期して、行われなければならない。

同時に、教育は、社会の変化に対応して絶えずそのあり方を見直していかなければならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など、時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成する教育が、重要になっている。

東京都教育委員会は、このような考え方に立って、以下の「教育目標」に基づき、区市町村教育委員会と連携して、積極的に教育行政を推進していく。

東京都教育委員会は、子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育を重視する。

また、学校教育及び社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を図る。

そして、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われなければならないものであるとの認識に立って、すべての都民が教育に参加することを目指していく。

## 2 東京都教育ビジョン（第4次）

### (1) 「東京都教育ビジョン（第4次）」とは

「東京都教育ビジョン（第4次）」は、平成31年度から令和5年度までの5年間で、東京都教育委員会として取り組むべき基本的な方針と、その達成に向けた施策展開の方向性を示した「教育振興基本計画」（教育基本法第17条第2項）として策定された。学校と家庭、地域・社会の英知を結集し、子供たちのために一体となって様々な取組や実践を展開するため、都内公立学校教職員をはじめとする全ての教育関係者の“羅針盤”として位置付けられている。

### (2) 「東京都教育ビジョン（第4次）」策定に係る社会的背景

「東京都教育ビジョン（第4次）」策定に係る主な社会的背景として、同ビジョンでは以下の5つを示している。

- 情報技術の急速な発展  
AIやICTの発達により、日々、様々な新しいサービスが創造されている。
- 超高齢社会の到来  
東京都では、高齢化が加速し、数年後には約4人に1人が高齢者となる。
- 国際化の進展  
東京都に在住する外国人や、東京都を訪れる外国人は増加傾向にある。
- 就業・就労状況の変化  
東京都における失業率は減少傾向にあるものの、離職する若者は多い。
- 経済と産業の変化  
日本の名目GDPは伸びに陰りが生じており、国際競争力も低下している。

### (3) 「次代を担う東京の子供の姿」とその考え方

「東京都教育ビジョン（第4次）」では、「次代を担う東京の子供の姿」を以下に記載の考え方の下、次のように定める。

**情報化や国際化など急速かつ激しく変化するこれからの社会を主体的・創造的に生き抜いていく子供**

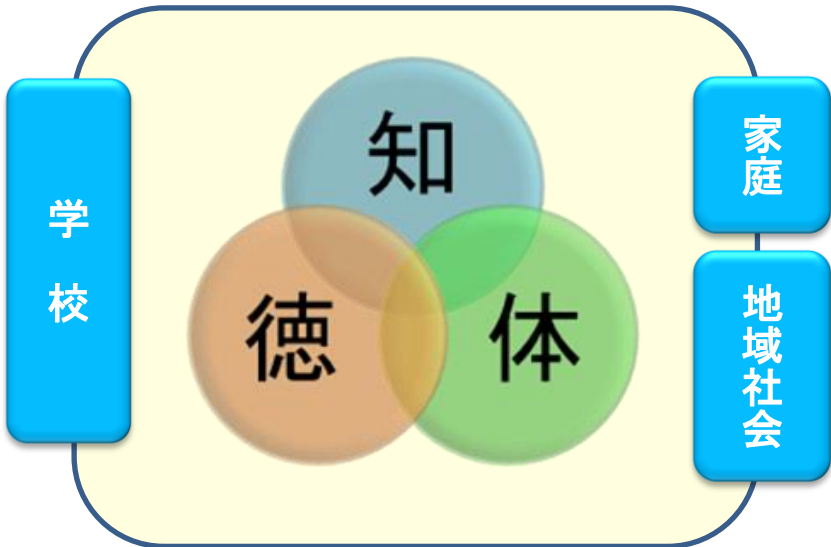
≪「次代を担う東京の姿」に向けた主な考え方と「東京都教育ビジョン」≫

- 情報化や国際化など、急速かつ激しく変化するこれからの社会を主体的・創造的に生き抜いていく子供を育てていかなければならない。そのため、全ての子供たちに基礎的・基本的な力を確実に育成することが重要
- 社会を牽引する専門的な力を育む教育を通して、生涯にわたって自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、より良く問題を解決する資質や能力を育てていく必要がある。
- 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの

豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力など、子供の「知」「徳」「体」をバランス良く育むことで、生涯にわたり学び続け、社会の持続的な発展に貢献する力を培っていくことが不可欠

- 学校だけで多様な価値観に対応し、子供一人一人の個性や能力を伸ばすことが難しい時代にあって、今まで以上に学校と家庭、地域・社会が相互に連携・協力して、子供を育てていかなければならない。
- 学校と家庭、地域・社会とが共に力を合わせ、日本の未来を担う人材を育成していくとともに、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を図っていく。

#### 「東京都教育ビジョン（第4次）」の概念図



## 「東京都教育ビジョン（第4次）」の体系

基本的な方針	
的 な 発 展 に 貢 献 す る 力 を 培 う  子 供 の 「 知 」 「 徳 」 「 体 」 を 育 み、 社 会 の 持 続	1 全ての児童・生徒に確かな学力を育む教育
	2 社会の持続的な発展を牽引する力を伸ばす教育
	3 グローバルに活躍する人材を育成する教育
	4 夢と志をもち、可能性に挑戦しようとする力を育む教育
	5 豊かな心を育て、生命や人権を尊重する態度を育む教育
	6 健やかな体を育て、健康で安全に生活する力を育む教育
	7 オリンピック・パラリンピックの精神を学び、育む教育
に 連 携 ・ 協 力 し て 子 供 を 育 て る  学 校、 家 庭、 地 域・ 社 会 が 相 互	8 生徒の多様なニーズと時代の要請に応える「都立高校改革」
	9 これからの教育を担う優れた教員の育成
	10 教員の負担を軽減し、教育の質を向上させる「働き方改革」
	11 質の高い教育を支える環境の整備
	12 家庭、地域・社会と学校とが連携・協働する教育活動

### 3 東京都教育施策大綱

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の平成27年4月の施行を受け、都知事は東京都の根本的な教育の方針となる大綱を平成29年1月に策定した。また、令和3年3月には、それまでの大綱の考え方や様々な取組による改革の流れを受け継ぎながら、新しい時代の教育の確立を目指し、新たに大綱を策定した。本大綱では、「未来の東京」とそこに生きる子供たちの姿を描き、「誰一人取り残さず、全ての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育」の実現に向けた基軸となる3つの「学び」を定め、今後の教育の在り方を「東京型教育モデル」として位置付けるとともに、同モデルで実践する特に重要な6つの事項を提示している。

#### 【東京の目指す教育】

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

#### 【3つの「学び」】

「子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す『学び』」

「子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む『学び』」

「ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす『学び』  
(教育×DX)

#### 【東京型教育モデル】

子供たち一人ひとりにあわせて、3つの「学び」を有機的に連携させ、日々実践・改善を繰り返しながら、「誰一人取り残さず、全ての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育」を追求するという教育の在り方

#### 【重要事項】

- 1 一人ひとりの個性や能力に合った最適な学びの実現
  - ・「TOKYO スマート・スクール・プロジェクト」の推進
  - ・きめ細かい指導による、基礎的基本的な知識・技能の確実な定着 等
- 2 Society5.0時代を切り拓(ひらく)イノベーション人材の育成
  - ・STEAM 教育、工業高校教育の改革・充実
  - ・社会の持続的な発展をけん引する力を伸ばす教育 等
- 3 世界に羽ばたくグローバル人材の育成
  - ・DX に対応した英語教育の推進
  - ・多摩地域における体験型英語学習施設の整備 等
- 4 教育のインクルージョンの推進
  - ・障害のある児童・生徒の能力を最大限に伸ばし、自立と社会参加・貢献を実現するための教育の充実
  - ・社会的な自立を支援する学びのセーフティネットの構築 等

- 5 子供たちの心身の健やかな成長に向けたきめ細かいサポートの充実
    - ・健やかな体を育て、健康で安全に生活する力を育む教育の推進
    - ・生命を大切に作る心や他人を思いやる心、規範意識等を育む教育の充実
    - ・いじめ防止の対策や自殺対策に関する教育の推進 等
  - 6 子供たちの学びを支える教師力・学校力の強化
    - ・これからの教育を担う優れた教員の育成
    - ・教員の負担を軽減し、教育の質を向上させる「働き方改革」
- ・質の高い教育を支える環境の整備 等

【参考】

「東京都教育ビジョン（第4次）」と「東京都教育施策大綱」との関連性

「東京都教育ビジョン（第4次）」と「東京都教育施策大綱」は、東京都が目指すこれからの教育の基本的な方向性を共有し、より実行力のある施策を展開していく。

